

再描画を自動から手動に切り替える

ご存知でしたか?... 大きいレイヤを多数表示して、再描画に時間がかかるとき、描画モードを自動から手動へ切り替えられます。

再描画を自動から手動に切り替えることで...

- 再描画を手動でコントロールすることで、無用な再描画を回避できます。
- 再描画したいときだけ [再描画 (Redraw)] (V74:2008 以降では [リフレッシュ (Refresh)]) アイコンを使えます。
- 再描画の初期設定を簡単に手動に変更できます。

[何か変更後に再描画 (Redraw after any change)] アイコンをオフにして、描画モードを自動から手動に切り替えます。

自動再描画モード



[何か変更後に再描画] アイコンを押すと、開いている表示ウィンドウに設定してある再描画モードが切り替わります。

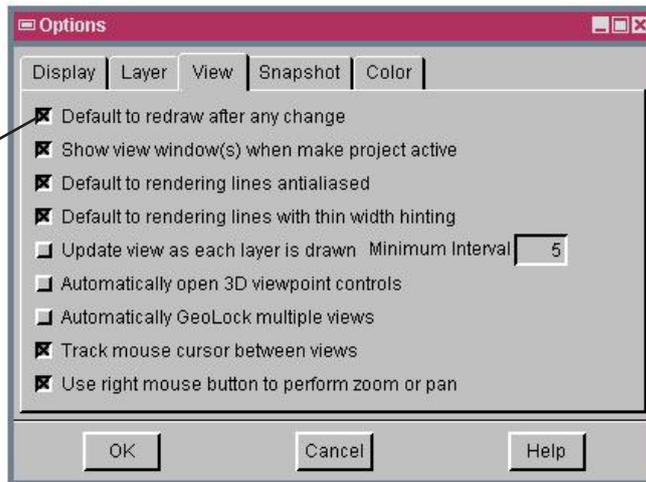
(V74:2008 以降このアイコンはなくなりました。)

手動再描画モード



[再描画] アイコンは表示キャンバスを必要時に更新します。[何か変更後に再描画] アイコンがオンの時、このアイコンを使う必要はありません。

このトグルがオンの時、新規の表示ウィンドウでは [何か変更後に再描画] アイコンがオンになります。表示を再描画したいとき、[再描画] アイコンを毎回押す必要はありません。ただし、再描画に時間がかかる時、変更したくなるかもしれません。



この [オプション (Options)] ウィンドウは、〈表示マネージャ〉ウィンドウのメニューバーから [オプション (Options)]>[表示ウィンドウオプション (View Options)] を選んで開きます。

再描画を自動から手動に切り替える方法

開いている表示ウィンドウに対して：

- [何か変更後に再描画] アイコンをクリックしてオフにします。(V74:2008 以降このアイコンはなくなりました。)

表示ウィンドウを開く前であれば：

- 表示マネージャメニューから [オプション]>[表示ウィンドウ オプション] を選択します。エディタ-レイヤマネージャ (Editor-Layer Manager) メニューでは [セットアップ (Setup)]>[詳細設定 (Preferences)] を選択します。
- 開いたウィンドウで [表示 (View)] タブをクリックします。
- [変更後再描画するように設定する (Default to redraw after any change)] ボタンをオフにします。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください：

ツールバーの機能
(View Toolbar Features)

